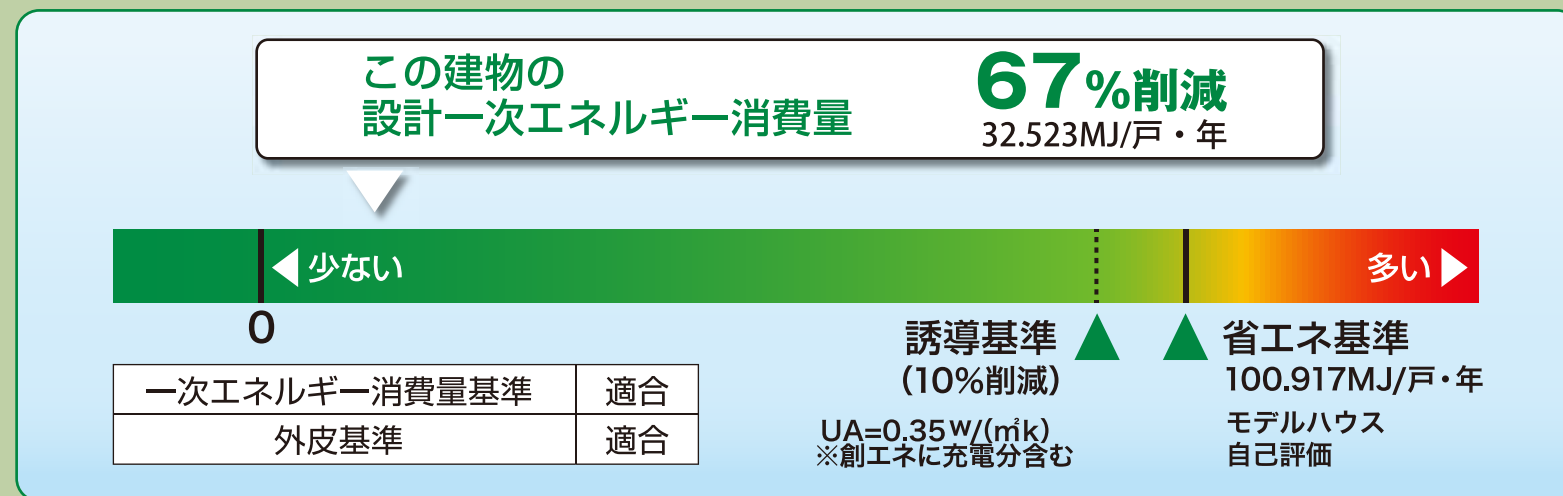


これからは住宅も燃費表示の時代

「HAVE-S工法」+「オール電化設備」で超低燃費を実現

▼日沼工務店の家の一次エネルギー消費量



MJ(メガジュール)は熱量の単位である。1MJ=10⁶J=1/3.6kWh=0.2389kcal
 従来の単位であるカロリーは1999年10月以降、計量法で使用が禁止された。
 (栄養学や生物学に関しては除く。国際単位系SIにおいては、併用単位にもならない。)
 ※1カロリーは「1グラムの水の温度を1℃上げるのに必要な熱量」である。
 ※1カロリーは約4.2ジュール、1ジュールは約0.2389カロリーである。

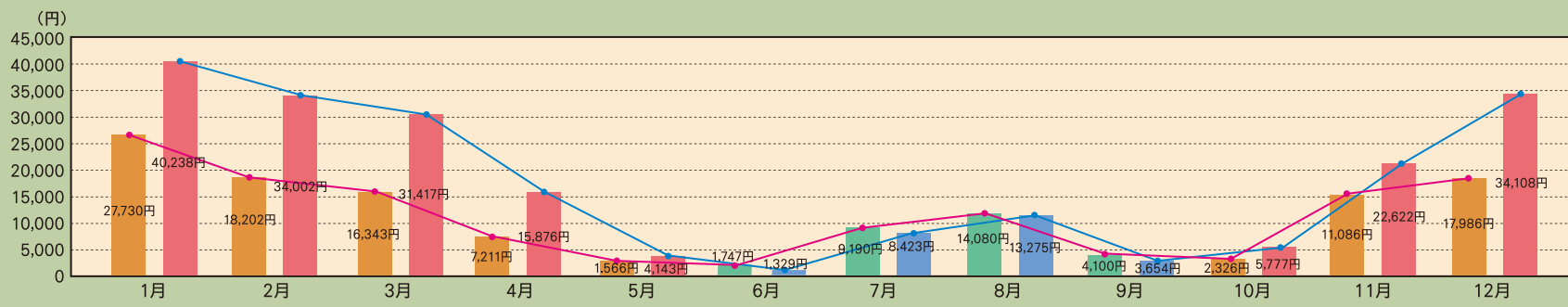
..... HAVE-S工法の基本高性能が実現

■ 日沼の家熱費計算書<パルジェ>

年間暖房費用 **96,185円** ・暖房熱費=73.7kwh/m² (室温22℃設定)
 年間冷房費用 **29,382円** ・冷房熱費=21.5kwh/m² (室温25℃設定)
 ・熱損失係数(Q)=1.466w/mk

■ 一般住宅熱費計算書<2.4>

年間暖房費用 **188,117円** ・暖房熱費=172.1kwh/m² (室温22℃設定)
 年間冷房費用 **26,752円** ・冷房熱費=12.9kwh/m² (室温25℃設定)
 ・熱損失係数(Q)=2.400w/mk



月次	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
暖房負荷 [MJ]	8,328	6,976	6,263	2,764	530	0	0	0	860	4,249	6,893	36,863	
冷房負荷 [MJ]	0	0	0	67	639	3,360	5,148	1,499	30	0	0	10,742	
ランニングコスト [円]	21,730	18,202	16,343	7,211	1,382	0	0	2,245	11,086	17,986	96,185	29,382	
合計	27,730	18,202	16,343	7,211	1,566	1,747	9,190	14,080	4,100	3,654	2,326	17,986	125,566

※当社で建築した建物(42坪)の場合
 (注意) 当ランニングコスト試算結果は、寒さや日照時間、暖房設定温度等によって大きく変わるものであり、金額を保証するものではありません。

オール電化住宅の条件

- ★住宅の高気密・高断熱化は、冬期間ひとシーズン全館暖房が必要になります。これは、個別・間欠暖房による住宅内の温度差の問題、温度差による結露の問題、さらには結露によって引き起こされる様々な耐久性や人への弊害を避けるためには全館暖房が必要です。
- ★給湯設備・調理設備・暖房設備を電化にした住宅を、全てオール電化住宅と呼ばれていますが、どんな住宅でも省エネで暖かいとは限りません。
- ★暖房器具も燃焼設備(灯油暖房やガス暖房)のものでは、燃焼とともに余分な水分やガスが発生します。この処理の問題を考え、生火を使用せず余分な水分やガスも発生しない安全で安心の住宅がオール電化住宅になります。
- ★住宅の基本性能(Q値・C値)がしっかりとないと、日々の暖冷房費用が格段に違います。
- ★省エネで快適・安心なヒートポンプ機器を採用しております。

各種認定証を取得



次世代省エネルギー認定
 HAVE-S工法は、IBECによる気密認定、次世代省エネルギー認定を取得。この認定を取得することは、HAVE-S工法が高い技術水準にあることが公的に認知されたことを意味します。冬だけでなく四季を通じて快適に暮らせる住まいであることを約束します。



木造住宅部材品質優良認定
 日本住宅・木材技術センターによる「木造住宅部材品質優良認定」を与えられた、高精度な部材です。木の狂いがなく耐久性の高い高乾燥材を使用。しかもコンピューター管理によりミリ単位で正確に切り出されるAQ高耐久性機械プレカット部材なので、精度の高い施工が可能となり、強さと耐久性をさらに高めることができます。



木造住宅合理化認定
 在来木造住宅は、数多くの秀れた性質を持ち、永い伝統に基づいた住宅ですが、生産供給システムにおいては、他の工法に比べ遅れている現状にあります。「木造住宅合理化認定システム」は、木造住宅の受注・設計・生産・供給のシステムが合理化され、かつ完成後の保証・維持体制が整っている工法を公的に認定する事業です。



気密認定
 1999年、HAVE-S工法を開発。IBECの気密認定を取得、次世代型省エネルギー基準に合わせてより高品質で高性能な住宅を常に供給するため、幾多の技術開発と試験を繰り返して、これまで積み重ねてきた技術、及び実績の集大成として、開発いたしました。

構造計算 日沼工務店では一棟一棟、全てにおいて構造計算を行います。

構造計算とは、建築物が安全であるかどうかを客観的な数値として表すために実施する計算のことです。建築物は地球上で重力や風、地震などの力を受け続ける必要があります。その力に対する建築物の安全性を計算し、全ての建物が耐震性、耐風性、耐雪性において最高等級を標準仕様としております。

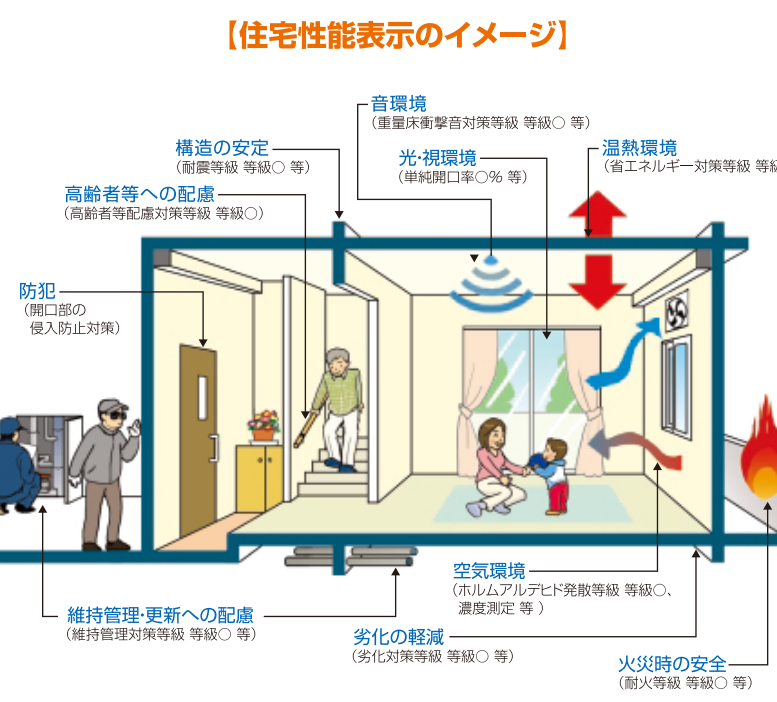
住宅品質確保促進法

品確法の性能表示制度にトップレベルで対応しています。お客様と対話しながら、敷地条件やライフスタイルなどを考慮し、バランスの優れた住まいづくりをご提案いたします。1999年6月に公布された「住宅の品質確保の促進等に関する法律(品確法)」によって、10年間の瑕疵担保責任の義務化と、任意制度として住宅性能表示制度が創設になりました。日沼工務店では、瑕疵担保責任につきまして、10年間の長期保証をしております。性能表示制度のご利用はお客様の選択となり住まいの性能を共通の基準で検討でき、指定住宅性能評価期間により、客観的に確認ができます。

- 日沼工務店では、
- ①構造の安定(地震・暴風・大雪に対する強さ)
 - ②劣化の軽減(耐久性)
 - ③温熱環境(省エネ住宅)
 - ④空気環境(ホルムアルデヒド対策)

の四項目で最高等級の仕様を標準設定その他も、お客様のご要望にトップレベルでお応えできる体制を整備しています。

10分野のものさしで住宅の性能が分かります



各分野の等級が最高等級である必要はありません。ご自分の希望と予算を考えて適切な等級を選びましょう。